

第9回国立市健康危機管理対策本部会議記録

日時	令和2年12月4日（金）午後3時30分から午後4時10分
場所	市議会委員会室
出席者	永見市長、竹内副市長、是松教育長、宮崎政策経営部長、藤崎行政管理部長、大川健康福祉部長、黒澤生活環境部長、江村都市整備部参事、矢吹会計管理者、橋本教育次長、雨宮生涯学習・文化・スポーツ推進担当部長、内藤議世事務局長 佐伯オンプズマン事務局長、玉江選挙管理委員会事務局長、田代監査委員事務局長、山本子育て支援課長（子ども家庭部長代理） 立川消防署：玄海予防課長、深沢国立出張所長
付議事項	（1）感染拡大の状況について ①東京都の感染拡大状況について ・区市町村別累計感染者数（資料No.1） ・東京都モニタリング会議資料（資料No.2） ②国立市の感染状況について ・東京都から提供される患者情報（国立市）（資料No.3） ・国立市医師会長コメント（資料No.4） （2）国立市の対策について ①年末・年始の対応について ・国立市報12月20日号について（資料No.5：未定稿の市報原稿のため削除） ②庁舎クラスター発生時の執務スペース等対応について ・国立市庁舎でクラスターが発生した場合の対応について（資料No.6） ③その他 （3）本部長指示及び対応方針について
主な内容	（進行：大川健康福祉部長） 1 本部長あいさつ（永見市長） 国立市内におけるPCR検査の陽性者について、11月は19名ということで、今までにない感染拡大をみている。市民は落ち着いているような印象だが、市内の飲食店では利用客が増えているように感じ、クラスターの発生が懸念される。飲食店での会食や飲酒により感染し、家庭に持ち帰り、さらにGo To Eat等により感染を広げるような連鎖は、そろそろ断ち切られなければならない。過剰に反応する必要はないが、慎重な議論をし判断していきたい。
2 議 題	（1）感染拡大状況について（事務局：橋本健康づくり担当課長） ① 東京都の感染拡大状況について ア 区市町村別累計感染者数 資料No.1のとおり。 イ 東京都モニタリング会議資料（12月3日開催分） 資料No.2のとおり。 ②国立市の感染状況について ア 東京都から提供される患者情報（国立市） 資料No.3のとおり。 イ 国立市医師会長 春日井先生のコメント（事務局：加藤健康増進課長補佐） 資料No.4のとおり。 ウ 補足事項（大川健康福祉部長） 多摩立川保健所管内でのインフルエンザ患者の発生については、現状1件にとどまっているようだ。報道にあったとおり、昨日、東京都と東京都医師会の協議があったということで、年末年始における市内診療所の開所について依頼がある予定。

(2) 国立市の対策について

①年末・年始の対応について（尾崎秘書広報担当課長）

市報原稿（未定稿）をもとに、年末・年始の相談体制について確認。

②庁舎クラスター発生時の執務スペース等対応について（藤崎行政管理部長）
資料No.6のとおり。

③その他

ア 立川消防署からの情報提供（立川消防署玄海予防課長）

立川消防署管内の救急出場件数は、昨年に比べて減少している。感染症対策として救急車内の消毒に時間がかかっていることや、救急要請自体も減少していることが影響しているかもしれない。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、民間救急搬送事業者の需要が増加しているようだ。

イ 成人式について（雨宮生涯学習・文化・スポーツ推進担当部長）

1月11日に成人式の開催を予定している。それなりの規模感のあるイベントであるが、感染防止対策を十分に行い実施するので、ご理解・ご協力をお願いしたい。

(3) 本部長指示及び対応方針について

幸いなことに市内は安定しているが、ここに来て少し落ちてきている印象であるため、常に緊張感をもって業務にあたること。庁舎でのクラスター発生時の対応を十分行うとともに、クラスターを発生させないための感染予防策を職員に徹底し、市民の皆様にも周知することをお願いしたい。年末年始の対応について早急に市医師会と方針を固め、適切な情報を広報するように。相談窓口を開放するにしても、話を聞くだけでなく、それに対応する手駒を用意する必要がある。年末年始の対応について、しっかり組み立てていただきたい。

以上